

マンガ研究科

博士前期課程・博士後期課程

博士前期課程

実技／理論

【領域】 マンガ実技、マンガ理論 ※アニメーション実技の領域はありません

世界屈指のマンガ研究機関で
最先端の研究を国内外に発信する。

2006年に日本初のマンガ学部を、さらに2010年には日本初のマンガ研究科を開設するなど、京都精華大学は常にマンガ教育・研究のトップランナーとして走りつづけています。マンガを単なる資料として扱うのではなく、その表現の本質を明らかにしていくことで「マンガとは何か」を追究している世界屈指の研究機関です。

PICK UP マンガの専門機関と連携し、
深く幅広い研究が可能

本学の研究機関「国際マンガ研究センター」では、国内外のネットワークを構築しながら、マンガやその原画などのアーカイブを行い、研究を進めています。そのような専門の研究機関や、京都市と共同運営している「京都国際マンガミュージアム」との連携により、マンガ表現のさらなる進化と、マンガ研究の国内外への発信をめざしています。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
マンガ実技	小田 隆 ODA Takashi	絵画／イラストレーション／美術解剖学	
	大谷 じろう OHTANI Jiro	マンガ	
	数井 浩子 KAZUI Hiroko	キャラクターデザイン／ストーリーメイキング	○
	具 本媛 KOO BON WON	ストーリーマンガ／マンガ表現論	○
	武富 健治 TAKETOMI Kenji	創作ストーリーマンガ／コミカライズ	
	辻田 幸広 TSUJITA Yukihiko	アニメーション制作理論／インタラクション	○
マンガ理論	姜 竣 KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
	小泉 真理子 KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
	松下 哲也 MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	
	吉村 和真 YOSHIMURA Kazuma	思想史／マンガ研究	

研究テーマ例

- 日中コンテンツ産業をめぐる著作権問題の考察 —マンガにおける著作権保護を中心に—
- エッセイマンガの多様性と可能性 —「描く」という行為とメディア論を手掛かりに—
- 日本の原作マンガから中国の実写映画へ —『賭博黙示録カイジ』から『動物世界 Animal World』の比例として—
- 面を被ることで幽玄の世界を出入りする、ステルスアクションゲームのコンセプト及び、イメージボード作成
- 『美術手帖』から紐解く戦後漫画と美術界
- 視覚障害者に向けたマンガの提供フローの構築に関する研究 —ステークホルダーへのインタビューを手がかりに—

修了要件

【博士前期課程】 30単位以上修得および修士作品または修士論文を提出し、審査に合格すること

【博士後期課程】 14単位以上修得し、尚且つ博士論文を提出し、審査および試験に合格すること

科目例

【共通基盤科目】 表現特論、知的創造特論、プロジェクト企画演習、プロジェクトワーク演習、プレゼンテーション演習、学術論文演習、原書講読

【専門特講科目】 マンガ理論特講、マンガ領域特講

【専門研究科目】 マンガ研究

博士後期課程

実技／理論

【領域】マンガ

国内外でマンガ研究をリードし、
新たな可能性を拓く人を育てる。

マンガ／コミック文化についての研究や海外文献講読などにより、国際的に活動できる高度な専門能力を身につけ、国内外の学会会議や報告会で研究成果を発表します。いま、世界のマンガ評論や研究の場では、国際的にマンガ研究のレベルを向上させることが日本に求められています。マンガ研究科博士後期課程では、そのために必要となる、より深い知識とプレゼンテーション能力を着実に磨いていきます。博士前期課程同様、国際マンガ研究センターなどの研究拠点を活用し、マンガ研究の新たな学問分野を築く人の育成をめざします。

【教員一覧】

領域	教員名	専門分野	英語指導
マンガ	姜 竣 KANG Jun	表象文化論／民俗学／文化人類学	
	小泉 真理子 KOIZUMI Mariko	コンテンツ・ビジネス／文化経済学	
	辻田 幸広 TSUJITA Yukihiko	アニメーション制作理論／インタラクション	○
	松下 哲也 MATSUSHITA Tetsuya	近現代美術史／挿画史／キャラクター表現論	
	吉村 和真 YOSHIMURA Kazuma	思想史／マンガ研究	

研究テーマ例

- マンガ的コミックの「マレーシアらしさ」—文化的アイデンティティとコミック表現をめぐって—
- アダプテーションとしてのメディアミックス —前田真宏の『巖窟王』を例に—
- オタク化するギーク、ギーク化するオタク
—ハンガリーのプロデューサーから見たアニメ・マンガ文化の国際的普及およびサブカルチャー的クラスターの役割—
- 1960年代の少女マンガの〈忘却〉と〈発見〉
—週刊マーガレット誌の調査にもとづくメディアの物質性の研究 (1963-1970) —

